

# フォーサイト

フォーサイト：アイネットとソフトバンク株式会社アイネットとソフトバンク

日本における交差衝突防止V2Xプロジェクトの第一段階

このプロジェクトの第2段階には、アイネットの位置情報システムの配備が含まれる。

ソフトバンクの5Gマルチアクセス・エッジコンピューティング・インフラにおけるサービス

イスラエル、ネスシオナ - 2023年11月6日 - Foresight Autonomous Holdings Ltd. (NasdaqおよびTASE:自動車ビジョンシステムの革新企業である (NasdaqおよびTASE : FRSX) は、完全子会社であるEye-Net Mobile Ltd. (以下、アイネットモバイル) が、ソフトバンク株式会社との複数段階プロジェクトの第一段階を成功裏に完了したことを本日発表した。(東京：9434) (以下「ソフトバンク」という。)

ソフトバンクは、多段階プロジェクトの初期段階が成功裏に完了したことを確認した。今回の進展は、ソフトバンクとアイネットの協業における重要な一步を示すものだと考えている。ソフトバンクは、アイネットがソフトバンクのマルチアクセス・エッジコンピューティング (MEC) インフラ内で革新的な位置情報サービスを展開することを予期している。アイネットの位置情報サービスが最終的に統合されることにより、コネクティビティと衝突防止の分野が大幅に向上することが期待されている。この統合の成功は、アイネットのソリューションを日本市場で展開するための前提条件となる。

アイネットは、2023年8月31日に、日本の通信・IT事業者であるソフトバンクと有償の概念実証プロジェクトに関する契約を締結した。このプロジェクトは、ソフトバンクの複数のビジネスパートナーを通じて、アイネットのソリューションの日本市場での商業展開につながる可能性のある多段階の作業計画の一部である。

アイネットモバイルの詳細については、[www.eyenet-mobile.com](http://www.eyenet-mobile.com)。をご覧ください。または、同社のLinkedInページ「[Eye-Net Mobile](#)」をフォローしてください。Twitterでは[EyeNetMobile1](#) :、Instagramでは、[Eyenetmobile1](#)、というチャンネルもありますが、このプレスリリースには含まれていないのでご了承ください。

## フォレンジグについて ht

Foresight Autonomous Holdings Ltd. (NasdaqおよびTASE:FRSX) は、スマートマルチスペクトルビジョンソフトウェアソリューションとセルラーベースのアプリケーションを開発するテクノ

ロジー企業です。当社の完全子会社であるForesight Automotive Ltd.、Foresight Changzhou Automotive Ltd.およびEye-Net Mobile Ltd.を通じて、フォーサイトは「見通し内」ビジョン・システムと「見通し外」事故防止ソリューションの両方を開発している。

# フォーサイト

フォーサイトのビジョンソリューションには、自動キャリブレーションや高密度3D点群などのモジュールが含まれ、自動車、防衛、自律走行車、重工業設備など、さまざまな市場に応用できる。Eye-Net Mobileの携帯電話ベースのソリューション・スイートは、最先端のAI技術と高度な分析を取り入れることで、都市モビリティ環境におけるすべての道路利用者の交通安全と状況認識を強化するため、リアルタイムの衝突前警告を提供する。

フォーサイトとその完全子会社であるフォーサイト・オートモーティブに関する詳細情報は、[www.foresightauto.com](http://www.foresightauto.com)をご覧ください。Twitterでは@ForesightAuto1をフォローしていただくか、LinkedInではForesight Automotiveに参加してください。

## 将来の見通しに関する記述

本プレスリリースには、1995年米国私募証券訴訟改革法およびその他の連邦証券法の「セーフハーバー」条項の意味における将来見通しに関する記述が含まれています。「期待」、「予想」、「意図」、「計画」、「確信」、「求める」、「推定」などの言葉や類似の表現、またはそのような言葉のバリエーションは、将来の見通しに関する記述を識別することを意図しています。例えば、フォーサイトはこのプレスリリースで将来の展望に関する表現を使用している。それは進展が協業における重要な一步を示していること、アイネットがソフトバンクのマルチアクセス・エッジコンピューティング・インフラ内で位置情報サービスを展開すること、アイネットの位置情報サービスの統合が接続性と衝突防止の分野を大幅に改善する可能性があること、アイネットの位置情報サービスの統合がアイネットのソリューションを日本市場で展開するために必要であるとフォーサイトは考えていること、そしてこのプロジェクトが多段階の作業計画の一部であり、ソフトバンクのビジネスパートナーを通じてアイネットのソリューションを日本市場で商業展開する可能性があることを含んでいる。このような記述は、将来の出来事に関するものであり、フォーサイトの現時点での予想に基づくものであるため、様々なリスクや不確実性を内包しており、フォーサイトの実際の結果、業績または成果は、本プレスリリースに記載された、または本プレスリリースに記載された記述により示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。

本プレスリリースに含まれる、または暗示される将来の見通しに関する記述には、2023年3月30日に米証券取引委員会（SEC）に提出されたフォーサイトの年次報告書（Form 20-F）の「リスク要因」、およびその後のSECへの提出書類に記載されているものを含め、その他のリスクや不確実性が伴う。法律で義務付けられている場合を除き、フォーサイトは、本書の日付以降の事象もしくは状況を反映するため、または予期せぬ事象の発生を反映するために、これらの将来見通しに関する記述の修正を公に発表する義務を負うものではない。ウェブサイトへの参照やリンクは便宜上提供されたものであり、そのようなウェブサイトに含まれる情報は、以下のようなものではない。

# フォーサイト

本プレスは、第三者のウェブサイトのコンテンツを参照することにより、本プレス内容に組み込まれている。

**投資家向けお問い合わせ先：**

ミリ・シーガル＝シャリアCEO

MS-IR LLC

[msegal@ms-ir.com](mailto:msegal@ms-ir.com)

917-607-8654 リリースフォーサイトはその責任を負わない。